

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年10月20日

事業所名 てらびあぼけつと西田辺教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	定員が各コース3名で個室が3部屋あります	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	ほぼバリアフリーの構造になっています(玄関にのみ段差あり)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	こまめな掃除や毎日の消毒作業をしっかりと行っています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	目標設定は職員同士で話し合いながら行っています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		真摯に受け止め、職員と話し合いを行い改善につなげます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPやSNS、教室の玄関に掲示するなどして公開しています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	本部SVIによる第三者評価を受けています	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	入社時の研修があり、月1回本部SVIによる相談の機会もあります	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	児発管が行っています	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	てらびあぼけつとで配布されているツールを使用しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	児発管が行っています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	定期的に計画を見返しています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	50%	50%	個別に各担当が立案するが、話し合いは行っています	プログラムの計画について、終礼やケース検討会議などでさらに共有を図っていきます
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	前回の担当者と連携して固定化しないように工夫しています	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	どちらにも対応できるように予定を組んでいます	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%	朝礼時に話をしている。職員間での打ち合わせを行っています	サービスの提供が安全かつ適切に行われるように、継続して行くとともに、情報共有の工夫を検討する場を作っていきます
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼時に話をし、共有しています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	データがすべてなので漏れなく行っています	判断に迷うときは職員で話し合って評価しています
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	75%	25%	児発管が行っていません	カンファレンスなどにより、各職員の意見を取り入れながら、必要に応じて見直しができるようにします	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	0%		コロナ禍で担当者会議が減っている中「担当者会議」を知らない職員もいるので、今後伝えていきます
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	67%	33%		法人単位で区役所の担当者と連携が取れています
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%	該当児童なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%	該当児童なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	余地園への訪問など情報共有を行っています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%	開所1年未満のため該当児童なし	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	他事業所とも連携が取れています	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	25%	75%		コロナ禍のため自粛中です
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	50%	50%		今後機会を見て参加予定です
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時に保護者様とお子さまについての話をし連携を取っています	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	心理士による心理相談を実施しています	ペアレントトレーニングは機会を見て実施する予定です
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明をしています。利用者負担額に変更があった場合はプリントを配布してお伝えしました	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		保護者への説明が曖昧になっていたため、今後は児発管が説明をしていきます
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		定期定期には行っていないので時期を見て取り組みます
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	7月に保護者会を開催しました	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	心理士による心理相談にも対応しています	相談の申し入れがあったときは迅速に対応できるよう体制を整えます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	SNSにて発信を行っています	個人情報の取り扱いに気を付けて発信します
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	SNS発信時、お顔にスタンプをするなど、個人を特定できないようにしています	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	なるべく送迎時に直接お話をするようにしています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	コロナ禍のため自粛中です	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	BCPの作成を職員で分担することにより、マニュアルを意識する良い機会になりました	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75%	25%	避難経路の確認を実際に歩いて行いました	継続して、計画、実施、振り返りを行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	アセスメントシートにすべて記載しています	アセスメントの取りこぼしが無いように児発管が責任を持って聞き取りを行います
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	67%	33%	該当児童なし。教室で子どもが飲食をする機会はありません	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎月の職員会議で前月のヒヤリハットの報告をしています	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	行政や本部の研修動画を定期的に視聴しています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	50%	50%	教室で身体拘束を行うことはありません	行う必要があるときは、保護者への説明や支援計画に記載をするよう指導を受けています

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年10月20日

事業所名 てらびあぼけつと西田辺教室 保護者等数(児童数) 15 回収数 13 割合 86 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%	大部屋と個室があり、とても広いです。	個室もお受け入れできるお子さまの人数分ありますので、ご安心ください。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	92%	0%	0%	8%	基準はわかりませんが、いつもたくさん先生がいます。	マンツーマンの支援を行っているのでお子さまの人数よりも職員の方が多くなることがあります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%	新しいということもあり、きれいで清潔にされていると思います。	今後も清潔に保つよう努めます。
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	92%	0%	0%	8%	ガイドラインはよくわかりませんが、支援内容に不満はありません。	ガイドラインのことも支援計画の読み合わせ時に行います。支援の内容にご理解をいただきましてありがとうございます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%	「このプログラムは継続します」など、理由もきちんと説明してくれます。	プログラム達成確認を複数人で行うため、同じプログラムが何度も繰り返されることがありますが、その都度理由をお伝えします。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	25%	0%	25%	50%	無くても問題ないと考えます。コロナ禍のため、難しいと思います。	コロナ禍のため、自粛中です。
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%	プリントで連絡を受けました。	1回の利用者負担額に変更があったため、プリントにてお知らせしました。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%		ガイドラインのことも支援計画の読み合わせ時に行います。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	45%	0%	18%	36%	機会があれば参加したいです。	今後機会があれば開催します。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	日々の出来事をととても丁寧に伝えてくださいます。	保護者様に相談させていただくことも多いのですが、いつもいろいろ教えていただき、ありがとうございます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	85%	15%	0%	0%		半年や3か月に一度、支援計画のお読み合わせの面談を行っています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	77%	0%	15%	8%	保護者会に参加させていただきありがとうございました。	ご参加いただきありがとうございます。ご参加いただけなかった保護者様にも次回ご参加いただけるよう、事前連絡をしていきます。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	92%	0%	8%	0%	心理相談もされていますが、送迎時にお話をさせていただく中でお伝えできていることも多いです。	職員への相談以外にも、心理士への相談も行っています。心理士との連携も行っていますので是非ご利用ください。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%	口頭や連絡帳などでも親切に教えてくださっています。	わかりやすい言葉でお伝えできるよう心掛けて今後も対応します。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	85%	0%	0%	15%		リタリコ発達ナビやインスタグラムに療育の様子を投稿させていただいています。新しい投稿をした時には保護者様にその旨をお伝えする一斉配信も行っております。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		安心してお過ごしいただけるように、今後も個人情報の取り扱いには十分注意して療育を行ってまいります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	85%	8%	0%	8%	マニュアルの周知はされているが、訓練についてはわからない。	マニュアルに目を通していただきありがとうございます。訓練につきましては、実際の災害を想定して随時行ってまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	67%	0%	8%	25%		今年度は消防署職員の方に助言をいただき、消火訓練を行いました。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	92%	8%	0%	0%	毎週楽しみに通っています。毎回喜んで通っています。	ありがとうございます。お子さまが楽しく通える事業所でありたいと思います。
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%		ありがとうございます。今後も精進してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。